

名護市立羽地中学校
校内合唱コンクール

輝くためのハーモニー



成長・貢献・感謝

羽地中学校
学校だより119号
R1. 10. 28



今年4月のクラス替えの時に、男声パートのDさん、アルトパートのMさんが揃っていたので、絶対にグランプリを取るぞ！と張り切っていました。歌い続けた「茜色の約束」を自由曲で歌うことになったので、昨年よりも力が入り、1ヶ月前から練習に取り組みむことが出来ました。

たまたま、熱が入りすぎて仲間につきつい言葉を言ってしまった時もありましたが、休日でも集まってくれたメンバーもいて、どのクラスよりもグランプリを目指しているんだと感じることができました。

当日は、朝の声だしでうまく声をだせない仲間もいましたが、リハーサル室で練習した時には、涙目になるほど声が出せていたので嬉しかったです。

本番は2年3組さんのうまさにガチガチに緊張して、声がかさかさになったり、テンポが速くなったりして、自分の中では悔いが残るステージでした。だから、正直、金賞に選ばれる自信もなかったのですが、金賞と呼ばれたときはとても嬉しかったです。そして、最後にグランプリに選ばれた時は、もう思わず



涙がこぼれていました。みんながグランプリを取るために頑張ってくれたことに感謝したいです。この情熱を保ったまま来月の中文祭・地区音に出場し、合唱コンクールよりも良いハーモニーを響かせたいです。頂点を目指して、日々の練習に励みます。

(K・Uさん)



練習を始めた時は、お喋りが多くて先生に注意されていました。Dに目線やジェスチャーで「歌おう」と呼びかけられて、声が出るようになりました。

当日は、とても緊張していただけ、三年間で一番

大きく歌えました。地区音もガンバルゾー！

(M・Kさん)

今年最後の合唱コンクールなので、グランプリ目指して、しっかり声を出して頑張りました。

本番でも、やっぱり練習でやってきたことしかできないので、リラックスして歌うつもりでしたが、やっぱり緊張しました。グランプリ取れて良かったです。次は、Uも入れて全員で歌いたい。(N・Kさん)

夜、寝るときに、ベッドの横にCDプレイヤーを置いて、アルトをずっと聞いていました。のどを潤すマスクもつけて寝ました。発声練習をして、たくさん歌い込みました。龍角散を合計八つくらい食べました。

当日は、音程をとるよう心がけました。のどが乾いて、昨年よりも相当成長したと思います。昨年は音程も取れず、逃げて声も小さかった。負けるつもりで練習もしなかった。今年は真逆でした。音程を取るよう努力し、逃げませんでした。自分のベストを尽くそうと思えました。一番感謝したい人は、芽唯実さんです。隣で声をかけ、引っ張ってくれました。

(S・Aさん)

